



〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-2-9

プラネット南森町ビル 8 階

電話 06-6352-3400 FAX 06-6352-3401

メール saposen-osaka@lemon.plala.or.jpホーム <http://www.saposen-osaka.org>

編集・発行/ NPO 労働と人権サポートセンター・大阪

センター・大阪



サポセン通信 第 51 号 目次

- ・労働組合（大阪市従労組公園支部）による災害救援の組織ボランティア活動報告 1～3 ページ
- ・サポセン講座「李哲（イヨル）さん から見える韓国の今」 2月19日開催 案内 3 ページ
- ・3. 22 夢洲あぶない、やめてんか カジノ・万博 パレード 参加よびかけ 4 ページ

第 16 期サポセン 12 月講座の報告

能登半島地震救援活動と

「被災地 NGO 協働センター」との取り組み報告

大阪市従業員労働組合 公園支部 V ネット委員会

サポセン 12 月講座が昨年 12 月 18 日に「NPO 労働と人権サポートセンター・大阪」事務所で開催された。テーマは「能登半島地震救援活動と『被災地 NGO 協働センター』との取り組み報告」。報告は「大阪市従業員労働組合 公園支部 V ネット委員会」の田上淳史さんと渡部聡さんをお願いした。当日の参加者は 15 名。講座終了後に交流会を行った。

「V ネット委員会」の立ち上げと活動

「V ネット委員会」の立ち上げは 1997 年 4 月 1 日。前々年の 1 月 17 日に発災した、「阪神・淡路大震災」に対する、大阪市従業員労働組合公園支部（以下「公園支部」）の救援活動の取り組みを経て立ち上げられた。

立ち上げの経過や意義について、配布された報告資料から引用する。“（公園）支部は、・・・労働組合が社会的に果たす役割として・・・各種の組織ボランティア活動に取り組み、「何が必要であり、今の自分は何をすべきか、何ができるのか」という自己意識の定着とともに、・・・多くの交流とネットワークづくりや、組織内に新たな活動の視点を見出すなど、今後の運動の前進に大きな成果と教訓をえてきました。本来、ボランティア活動は、個人の意思による自主的活動としてその役割は大きいものがありますが、一方で組織ボランティアは個人で対応できない活動に対して、安定的・中長期的展望を持って取り組み、大きな原動力とネットワークを持っています。支部はこうした立場から、組織ボランティア活

動の具体（化）の推進に向けて、・・・「大阪市従業員労働組合公園支部 V ネット委員会」を設置し、その活動を安定的に支える「V ネット基金」を設立し、・・・各種イベントへの参画や被災地復旧にむけた支援など、多岐にわたる活動を組織ボランティアとして取り組んできました。”（「公園支部 V ネット委員会の歩み」より）

「V ネット委員会」が行った救援活動として紹介されたのは「新潟県三条市集中豪雨」（2004 年 7 月 13 日発災）、「兵庫県豊岡市水害」（2004 年 10 月 20 日発災）、「東日本大震災」（2011 年 3 月 11 日発災）、「熊本地震」（2016 年 4 月 14 日発災）そして「能登半島地震」（2024 年 1 月 1 日発災）。



「能登半島地震」の救援活動

昨年元旦に発災した「能登半島地震」の救援活動は 1 月 26 日から 29 日に実施された現地調査から始まった。現地調査では、“①長期的な支援の必要性②日々支援内容が変わる③継続的な支援ニーズの取りまとめの難しさなど、多くの課題が明らかに”（報告資料「能登半島地震公園支部 V ネット委

員会救援活動について」）なった。そして、3 月 18 日から 23 日に先遣隊が派遣され、その後、4 月 17 日から 6 月 23 日の期間に 9 回にわたってボランティア派遣がおこなわれた。活動場所は金沢市、七尾市、中能登町他である。

報告資料にはそれぞれの派遣グループごとの作業内容が詳細に記載されている。例えば 4 月 17 日から 21 日に 2 名が派遣された第 1 グループでは、4 月 18 日に「被災地 NGO 協働センター」の活動拠点前の広場（七尾市内）で樹木の剪定等、被災者宅ビニールハウスで苗木の移動等、19 日に被災者宅でコンクリートブロック壁の撤去運搬等、災害ごみ仮置き場でコンクリートがれきの運搬等、被災者宅でサッシの回収、ガラス運搬等、20 日リサイクルセンターでダンボールの運搬、売却等、七尾総合市民体育館でダンボールハウスの受け取り、運搬等、中島オートキャンプ場で倒木処理、実生撤去、ガラス片回収等が行われている。



このようなビッシリとした作業内容が述べ 27 日間すべての日ごとに記載されている。このことは、ボランティア派遣が現地受け入れ側との綿密な打ち合わせと計画のもとに行われたことをものがたっている。まさに“組織ボランティア”ならではの活動実績である。

本年は日本の市民運動史上“ボランティア元年”といわれた阪神・淡路大震災が発災した 1995 年から 30 年。この震災を機に立ち上げられた労働運動としての組織ボランティアが、30 年の時を経てなおも有効に活動していることにあらためて労働組合運動の生命力を感じた。（清輝）

訃報

会員の皆さま 友誼団体の皆様

当 NPO 法人理事（元大阪東南平和・人権・環境フォーラム事務局長、元なにわユニオン執行委員長）の小川 亮さんが、かねてから病氣療養中でありましたが、昨年 12 月 30 日に永眠されました。小川さんは、当 NPO 結成準備段階から関わって頂き、現在の NPO の礎を築かれたひとりです。ここに心からの哀悼の意を表するとともに謹んでお知らせいたします。

第 16 期サポセン 2 月講座のご案内

「李哲さんから見える韓国の今」

講師：李哲さん（在日韓国良心囚同友会代表）

日時：2025 年 2 月 19 日（水）18 時 30 分

会場：エルおおさか 501 号室

（大阪メトロ谷町線 or 京阪「天満橋駅」より西へ 300m）

受講料：会員 500 円／一般 700 円

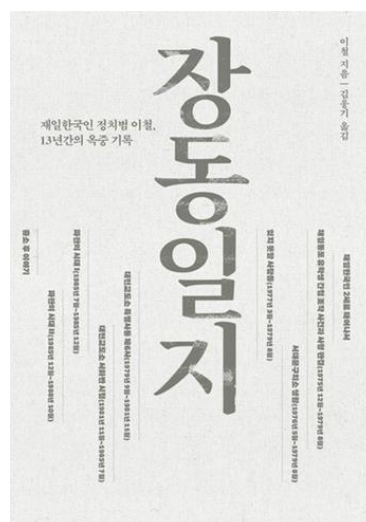
主催：労働と人権サポートセンター・大阪

協賛：日朝日韓連帯大阪連絡会議（ヨンデネット大阪）

昨年 12 月 3 日夜（22 時 23 分）、尹錫悦(윤석열)大統領による”非常戒厳令宣布”から大統領の”弾劾”、”逮捕”に至る韓国の今日の情勢についてどう考え、何を意味するのかを李哲（이철）さん（在日韓国良心囚同友会代表）からお話しをお聞きし、私たちの日韓連帯運動の課題を考える糧にしたいと思います。

【講師プロフィール】

李哲さんは、1975 年 11・22 事件「在日韓国人留学生スパイ団事件」で逮捕拘留され死刑判決を受けました。13 年間の獄中闘争とその後の活動で韓国の多くの民主人士と出会い、培った韓国の民主化運動と統一運動への思いをつづった「長東日誌」を 2 年前に出版し、昨年は韓国語版を出版され韓国国内でも大変な評判となっています。



韓国語版「長東日誌」表紙

2025 3・23 (日)

夢洲 あぶない

やめてんかカジノ・万博 パレード

万博開催中の事故や自然災害が懸念される中、危険性と問題点を知らせ続けることが大切です。万博が強行される直前に、夢洲の危険性をさらに広く訴えるパレードを実施します。アピールするグッズを持ち寄りご参加ください。

日時 3月23日(日) 13:00集会 13:30パレード出発 (なんばまで)

場所 うつぼ公園 (予定)

主催 3・23夢洲あぶない、やめてんかカジノ・万博 パレード実行委員会

万博強行で大赤字
つけは国民・
大阪府民・市民が払う
関西の物流止めて
経済停滞

毎日2トンのメタンガス、
殺人ヒアリも1000匹以上
台風・地震も逃げ場なし、
感染症、熱中症、
食中毒の危険もあるよ

能登の復興、遅々として、
いまだに避難所数百人
万博・カジノはすぐやめて
能登への支援に回しましょう

連絡先：大阪いちょうの会
大阪市北区西天満4-6-3第五大阪弁護士ビル3階
電話 080-3836-3771 (やぶた)